

令和6年第3回 清瀬市まちづくり委員会議事要旨

【開催日時】

日時：令和6年6月25日（火）午後6時から7時40分

場所：清瀬市役所4階研修室

【出席委員】

望月委員長、渡邊副委員長、赤川委員、荒井委員、池田委員、大室委員、神山委員、岸本委員、國井委員、甲田委員、里見委員、柴田委員、城山委員、関根委員、豊田委員、中村委員、野村委員、古川委員、星野委員、牧井委員

事務局：地域振興部長、市民協働課長、協働係長、協働係主任

【配布資料】

R6第2回議事要旨

令和6年まちづくり委員会 スケジュール ver 2

まちづくり基本条例逐条解説（9条、10条）

グループ分け名簿

市民提案募集チラシカラー印刷

市民提案No. 1

【議事】

1 開会 挨拶 望月委員長

2 事務局より

（1）配布資料の確認

（2）令和6年第2回議事要旨の確認 →修正なし

事務局より9条、10条の説明を行う

3 グループ分け →名簿のとおり

4 協議事項

（1）清瀬市まちづくり基本条例の運用状況調査について

グループ討議（調査項目の検討）

・ 1 グループ

項目は現状のままで良い。委員会は専門的なものが多い。興味がある方は傍聴に来るのではないかな。

・ 2 グループ

項目はある程度現状のままで良い。委員長の男女別の項目は必要なのか。

・ 3 グループ

項目は現状のままで良い。前回提言した内容が改善されたのか記述式で求めても良いのではないかな。

調査したものをまとめる作業が大変。事務局でまとめてほしい。
部課長会で報告した後、どう検討し改善されたのか聞いていきたいので、
「提言からの改善点」という設問に変える。

委 員 調査項目の決定や改善等云々に時間や浪費するのはいかなものか。
改善の対応等は市長の役割であり、その結果も市長の責任である。委員会としては、実態調査を問題なく行っていれば良いと思う。

委 員 委員会の役割は各課の附属機関の実態を調査し、それを基に市長に提言することであり、改善に向けた実際の対応は市長が行うべきではないか。実態調査、資料の作成、改善の要望など市がすることと委員会がすることの線引きが曖昧。

委 員 委員会では、調査項目の決定及び各課への調査を行う。その回答を集約したうえで市長への提言を作成することであり、改善に向けた実際の対応は市長が行っていくという理解で良いと思う。

(2) 清瀬市まちづくり基本条例に基づく市民提案募集について グループ討議（市民提案募集チラシの検討）

・ 1 グループ

現チラシは文字が多い。簡単な表現に作り替えていく。配布場所を公共施設だけではなく、大学や医療機関、飲食店などにも拡大していつてはどうか。
現提案用紙の「見込める成果」の部分は必要なのか。期待効果は求めない。

・ 2 グループ

市民提案用紙は大人用、子ども用に分ける。子ども用は小5～高校生がわかる内容にする。大人用は現状の内容で問題なし。

配布場所の検討。市民提案は市長に届くということを周知する。

・ 3 グループ

現実的に用紙を変えることはお金がかかることなので現状のままで良い。
注意事項の順番を変更する。市民提案及びまちづくり委員の存在をわかっ
てもらうために市報に掲載する。

委 員 注意事項5の部分は誰が回答しているのか。

事務局 まちづくり委員会で回答案を考え委員長名で回答。

委 員 現募集チラシは誰が作成したのか。印刷は誰が行うのか。

事務局 内容も含めチラシは委員会で検討し作成まで委員が行い、印刷は市が行う。

委員長 今年度は、甲田委員が作成してくださる。

委 員 文字量が多いと趣旨が不明になりがち。パット見てわかる内容が良い。

5 審議事項

(1) 運用状況調査項目について

決議 賛成：20人 反対：0人 白票：0人 欠席：0人

結果 可決

6 その他

(1) 市民提案No.1 の提示

→次回委員会までに提案内容からどのような視点から検討できるか考えてきていただく。

7 次回開催

令和6年7月23日(火) 午後6時

清瀬市役所 研修室

8 閉会